



## 未来創造科 （6年生）における実践事例

教育学部附属義務教育学校前期課程 教諭 錦織裕介

本校の未来創造科のテーマ「住みたいまちプロジェクト～ふるさとの明日を創ろう～」のもと、6年生では平和の視点で松江市をみつめます。今年度は「平和学習～昔から学びこれからを考えよう～」と題して、平和学習を進めてきました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた広島への研修旅行がなくなり、調べ学習を通じた学習となりました。子ども達は、興味をもったことについて熱心に調べ、昔の日本で何が起こっていたのか、当時の暮らしはどのようなものだったのかをまとめていきました。また、12月には加納美術館の名誉館長加納佳世子さんを招き、平和についてお話をさせていただきました。学習のまとめとして、自分が平和について考えたことを子ども達同士で発表し合いました。

子ども達は、この学習を通して、「戦争は悲しくて辛いもの」ということだけでなく、食べ物を食べたり安心して暮らせたりという、当たり前のことが当たり前にできることが平和ということであり、幸せであることに気づきました。そして、今の自分にできることとして、食べ物を残さず食べることや身近な人から相手を思いやることをあげています。自分事として考え、小さな所から平和を広げていけることを願っています。

